

## 第4章 職員調査の分析結果

この第4章では、関係機関の職員（各調査対象校の生徒指導担当教諭と各調査対象校を管轄する警察署の少年担当職員）を対象に行った質問紙調査の分析結果を示し、検討していく。その際、分析対象者全体の結果とともに、居住する地域の非行発生の多少で分析対象者を分けた結果を示していく。

地域の非行発生の多少については、前章の保護者調査の分析で用いた3区分を使うこととし、居住する居住する地域がこの3区分のどれに属するかで分析対象者を分けて調査結果をみることにする。3区分された分析対象者の人数は、多非行群48人、中非行群93人、少非行群47人である。なお、各図表の結果では、人数が限られているために、教諭と警察職員を分けずに集計が行われていることと、無回答を除いて集計が行われているために分析毎に各群の母数が異なっていることに留意されたい。

### 1 地域の青少年問題と有害環境の認知

まず、地域における非行などの青少年問題について、現状と過去2、3年の変化、および今後2、3年の予測の3点について職員の回答結果をみていく。表4-1-1に示した結果をみると、いずれの項目についても全体のほぼ半数が青少年の問題行動が深刻であると回答している。まず現状については、すべての群で青少年の問題行動が「非常に多い」あるいは「やや多い」と回答している者の割合が5割前後を占めている。その一方で、青少年の問題行動が「非常に少ない」あるいは「やや少ない」と回答している者の割合は、多非行群では1割未満であるのに対して、少非行群では26%となっており、かなり実態を反映していると考えられる。過去2、3年の変化についても、「非常に少

表4-1-1 青少年の問題行動全般に関する認知

		多非行	中非行	少非行	全体
現状	「非常に少ない」+「やや少ない」	8.3	17.2	25.5	17.0
	ほぼ平均	43.8	32.3	27.7	34.0
	「非常に多い」+「やや多い」	47.9	50.5	46.8	48.9
過去2、3年の変化	「非常に少なくなった」+「少なくなった」	22.9	23.7	31.9	25.5
	変わらない	29.2	28.0	29.8	28.7
	「非常に多くなった」+「多くなった」	47.9	48.4	38.3	45.7
今後2、3年の変化	「非常に少なくなる」+「少なくなる」	4.2	8.6	8.5	7.4
	変わらない	54.2	28.0	36.2	36.7
	「非常に多くなる」+「多くなる」	41.7	63.4	55.3	55.9

なくなった」あるいは「少なくなった」と回答した者の割合は、多非行群と中非行群では2割強であるが、少非行群では3割強となっている。また過去2、3年の間に青少年の問題行動が「非常に多くなった」あるいは「やや多くなった」と回答した者は、多非行群と中非行群では5割弱であるが、少非行群では4割弱と少なくなっている。今後2、3年の予測については、いずれの群も「非常に少なくなる」あるいは「少なくなる」と予測する者の割合は1割未満で、楽観的な見通しは少ない。また青少年の問題行動が「非常に多くなる」あるいは「多くなる」と予測する者は、中非行群で6割を超え3群の中で最も多く、少非行群でも5割を超えているが、多非行群では「変わらない」とする者の割合が5割を超え「多くなる」と「非常に多くなる」の合計よりも高い割合を占めている。

次に、表4-1-2は、地域における青少年の各種の問題行動について、調査対象地域でどの程度あるかの判断を求めた結果である。表4-1-2では、イからヲまでの12種類の問題行動についてそれぞれ、上段に「非常に多い」あるいは「やや多い」と判断

表4-1-2 個別の青少年の問題行動に関する認知

		(%)			
		多非行	中非行	少非行	全体
イ)夜遅く町中でたむろしたり、ぶらぶらすること	多い	72.3	66.3	63.8	67.2
	非常に少ない		4.3	8.5	4.3
ロ)人目に付くところでタバコを吸うこと	多い	68.8	57.0	46.8	57.4
	非常に少ない	4.2	8.6	12.8	8.5
ハ)カラオケボックスや居酒屋などで酒を飲むこと	多い	27.1	33.3	37.0	32.6
	非常に少ない	37.5	32.3	43.5	36.4
ニ)集団でバイクや車を暴走させること	多い	45.8	52.7	31.9	45.7
	非常に少ない	18.8	17.2	34.0	21.8
ホ)ケンカをして人をなぐること	多い	38.3	33.3	21.3	31.6
	非常に少ない	21.3	29.0	31.9	27.8
ヘ)店の商品を万引きすること	多い	72.9	65.2	46.8	62.6
	非常に少ない	4.2	7.6	17.0	9.1
ト)他の青少年や大人を脅して金品を奪うこと	多い	31.3	30.8	19.1	28.0
	非常に少ない	29.2	36.3	42.6	36.0
チ)テレクラに電話して遊ぶこと	多い	14.6	17.4	12.8	15.5
	非常に少ない	39.6	43.5	48.9	43.9
リ)車や他人の家、公園などの設備を傷つけたり、落書きすること	多い	37.5	26.1	31.9	30.5
	非常に少ない	18.8	23.9	38.3	26.2
ヌ)親や教師に暴力を振るうこと	多い	29.2	15.1	21.3	20.2
	非常に少ない	25.0	41.9	51.1	39.9
ル)覚せい剤やシンナーなどの薬物を乱用すること	多い	16.7	12.9	19.1	15.4
	非常に少ない	35.4	60.2	59.6	53.7
ヲ)ナイフなどを持ち歩くこと	多い	8.3	7.5	10.6	8.5
	非常に少ない	52.1	58.1	61.7	57.4

注 「多い」は、「非常に多い」と「やや多い」の合計

した者の割合、下段に「非常に少ない」と判断した者の割合を示してある。全体の結果として、「非常に多い」あるいは「やや多い」と判断した者の割合をみると、「夜遅く町中でたむろしたり、ぶらぶらすること」「人目に付くところでタバコを吸うこと」「店の商品を万引きすること」のそれぞれが6割前後で多く、続いて「集団でバイクや車を暴走させること」が5割近く、「カラオケボックスや居酒屋などで酒を飲むこと」「ケンカをして人をなぐること」「他の青少年や大人を脅して金品を奪うこと」「車や他人の家、公園などの設備を傷つけたり、落書きすること」のそれぞれが3割前後で、残りの項目は2割以下となっている。地域の非行発生別でみると、中学生の自己報告非行の多い地域ほど、「夜遅く町中でたむろしたり、ぶらぶらすること」「人目に付くところでタバコを吸うこと」「ケンカをして人をなぐること」「店の商品を万引きすること」「他の青少年や大人を脅して金品を奪うこと」の5種類の問題行動それぞれを、「非常に多い」あるいは「やや多い」と判断する者が多くなっている（少非行群と多非行群とのポイント差が8～12）。一方、「非常に少ない」の値をみると、「カラオケボックスや居酒屋などで酒を飲むこと」を除いた11種類の問題行動について、自己報告非行の多い地域ほど、「非常に少ない」と判断する者が少なく、少非行群と多非行群の差が9ポイント以上となっている。なお、「カラオケボックスや居酒屋などで酒を飲むこと」については、自己報告非行の少ない地域ほど、「非常に多い」あるいは「やや多い」と判断する者が多く、「非常に少ない」の割合も少非行群で約4割と最も高く、回答が二極化している。

さらに、非行の発生を促進する可能性のある有害環境の状況について尋ねた結果を、表4-1-3に示す。表4-1-3では、イからヲまでの12種類の有害環境についてそれぞれ、上段に「非常に多い」あるいは「やや多い」と判断した者の割合、下段に「非常に少ない」と判断した者の割合を示してある。なお、ハとニは厳密には青少年に対する有害環境ではないと見る向きもあると思うが、地域住民の地域環境に対する無関心さを象徴するもので、青少年の問題行動を助長することにつながると考え、有害環境に含めて検討することにした。全体の結果として、「非常に多い」あるいは「やや多い」と判断した者の割合をみると、「未成年者でもタバコが買える自動販売機がある」が7割で最も高く、「未成年者でも酒やビールが買える自動販売機がある」が6割、「夜遅くまで青少年が遊べるカラオケボックスがある」と「自転車やバイクが路上に乗り捨てられている」が5割前後、「夜遅くまで青少年が遊べるゲームセンターがある」が4割強、「未成年者にでも酒やビールを売る店がある」と「未成年者にでもタバコを売る店がある」

がそれぞれ3割強となっている。他の項目については、多いと判断する者は2割以下で相対的に多くない。地域の非行発生別でみると、部分的に中非行群と少非行群で数字の逆転がみられるが、大部分の有害環境に関して、自己報告非行の多い地域ほど、「非常に多い」あるいは「やや多い」と判断する者が多く、逆に「非常に少ない」と判断する者が少なくなっている。「非常に多い」と「やや多い」の合計では、「夜遅くまで青少年が遊べるカラオケボックスがある」と「テレクラの会員権やツーショットカードが自動販売機で売られている」を除いた10種類の有害環境において、少非行群と多非行群の差が9ポイント以上となっており、「非常に少ない」の判断では、「未成年者にでも酒やビールを売る店がある」「未成年者でもタバコが買える自動販売機がある」「未成年者にでもタバコを売る店がある」の3項目以外において、少非行群と多非行群の差が10ポイント以上となっている。

表4-1-3 有害環境の状況

		(%)			
		多非行	中非行	少非行	全体
イ)夜遅くまで青少年が遊べるゲームセンターがある	多い	54.2	37.6	42.6	43.1
	非常に少ない	14.6	30.1	36.2	27.7
ロ)夜遅くまで青少年が遊べるカラオケボックスがある	多い	58.3	47.3	55.3	52.1
	非常に少ない	8.3	29.0	25.5	22.9
ハ)公園のベンチや公衆電話などが壊されたり、落書きされたままになっている	多い	29.2	14.0	14.9	18.1
	非常に少ない	20.8	35.5	38.3	32.4
ニ)自転車やバイクが路上に乗り捨てられている	多い	60.4	48.4	34.0	47.9
	非常に少ない	2.1	8.6	12.8	8.0
ホ)風俗店の立て看板が路上の人目に付くところに出ている	多い	27.7	19.4	13.0	19.9
	非常に少ない	31.9	53.8	47.8	46.8
ヘ)電話ボックスにピンクビラ(風俗店の広告)がある	多い	25.0	14.0	14.9	17.0
	非常に少ない	54.2	61.3	63.8	60.1
ト)わいせつな雑誌やビデオが自動販売機で売られている	多い	29.2	16.1	17.0	19.7
	非常に少ない	25.0	48.4	57.4	44.7
チ)テレクラの会員券やツーショットカードが自動販売機で売られている	多い	16.7	9.7	12.8	12.2
	非常に少ない	50.0	64.5	74.5	63.3
リ)未成年者でも酒やビールが買える自動販売機がある	多い	72.9	60.2	46.8	60.1
	非常に少ない	2.1	8.6	14.9	8.5
ヌ)未成年者にでも酒やビールを売る店がある	多い	42.6	25.8	38.3	33.2
	非常に少ない	31.9	29.0	29.8	29.9
ル)未成年者でもタバコが買える自動販売機がある	多い	79.2	66.7	66.0	69.7
	非常に少ない	2.1	6.5	6.4	5.3
ヲ)未成年者にでもタバコを売る店がある	多い	40.4	25.8	31.9	31.0
	非常に少ない	34.0	37.6	38.3	36.9

注 「多い」は、「非常に多い」と「やや多い」の合計